



REAL CEDAR シダー・ベンチ

DESIGN: REAL CEDAR ORIGINAL

スタイルと機能性を兼ね備えた収納ベンチ。玄関やシューズクローク、テラス、アウト・ドアリビングなど使い道は広く、DIY初心者にもお楽しみいただける仕様です。このベンチは、美しいウエスタンレッドシダーのためのデザインであり、制作過程そのものが心豊かな時間となるでしょう。さらに、レッドシダーは腐朽や害虫に対する天然の抵抗性が高い木材なので、メンテナンスの負担が比較的軽く、長持ちします。

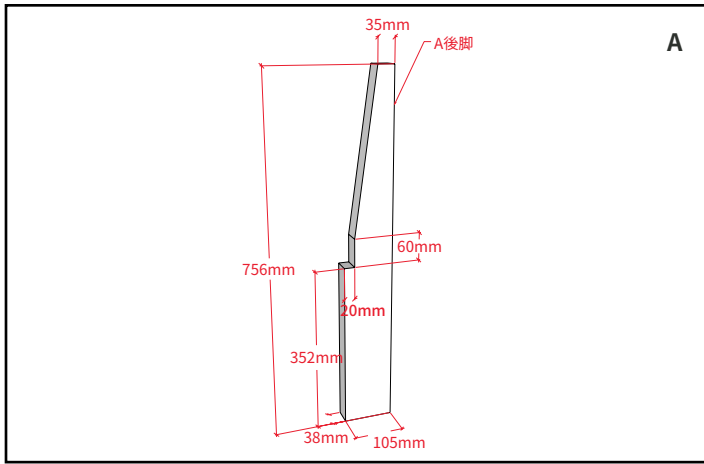
素材のグレード(等級)については、素朴な印象をお好みの方は、アーキテクト・ノッティ(節あり)をお選びください。また、洗練されたモダンなイメージには、アーキテクト・クリア(無節)がおすすめです。木材の寸法は、お近くの取り扱い店で在庫を確認しましょう。短いサイズをお選びいただくと、作業工程や素材の無駄が減ります。

材料リスト

記号	名称	厚み(mm)	幅(mm)	長さ(mm)	呼称寸法	素材	部数
フレーム							
A	後脚	38	105	756	2" x 6" x 3'	WRC 4面プレーナー仕上げ	4
B	フレームブレイシング	38	60	298	2" x 4" x 1'	WRC 4面プレーナー仕上げ	4
C	フロントブレイシング	38	60	1359	2" x 4" x 5'	WRC 4面プレーナー仕上げ	1
D	前脚	38	60	352	2" x 4" x 2'	WRC 4面プレーナー仕上げ	4
E	トップキャップ	19	76	1422	1" x 4" x 5'	WRC 4面プレーナー仕上げ	1
スラット(板)							
F	背面用の板	19	70	1397	1" x 3" x 5'	WRC ラフ	9
G	前面用の板	19	70	1397	1" x 3" x 5'	WRC ラフ	5
H	側面用の板	19	70	448	1" x 3" x 2'	WRC ラフ	10
I1	背もたれ側面用の板	19	70	98	1" x 3" x 4'	WRC ラフ	2
I2	背もたれ側面用の板	19	70	87	1" x 3" x 4'	WRC ラフ	2
I3	背もたれ側面用の板	19	70	78	1" x 3" x 4'	WRC ラフ	2
I4	背もたれ側面用の板	19	70	68	1" x 3" x 4'	WRC ラフ	2
座面							
J	背もたれ前面用の板(角度切り)	19	83	1422	1" x 4" x 5'	WRC ラフ	1
K	背もたれ前面用の板	19	70	1422	1" x 3" x 5'	WRC ラフ	3
L	座面用の板	38	102	1422	2" x 6" x 5'	WRC ラフ	2
M	座面用の板(角度切り)	38	102	1422	2" x 6" x 5'	WRC 4面プレーナー仕上げ	1
N	シートブレイシング	38	38	260	2" x 2" x 1'	WRC 4面プレーナー仕上げ	3
金物							
O	長蝶番(ロングヒンジ)			1359		ステンレス	1
P	皿ネジ #6			19		ステンレス	20
Q	ネジ #8			76		ステンレス	30
R	仕上げ釘(フィニッシュネイル)16ゲージ			51		ステンレス	250

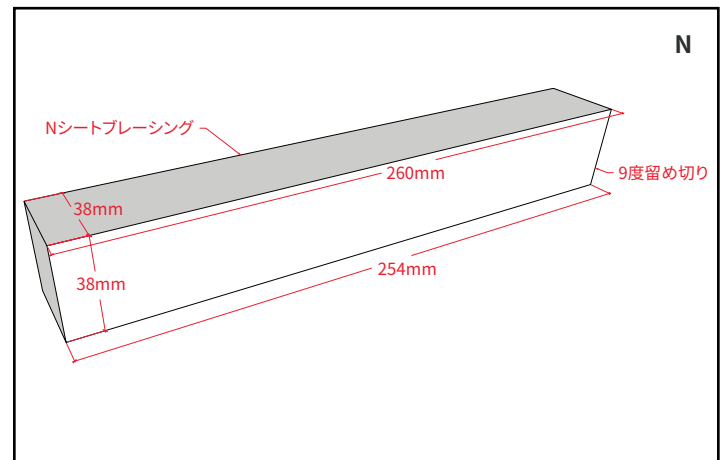
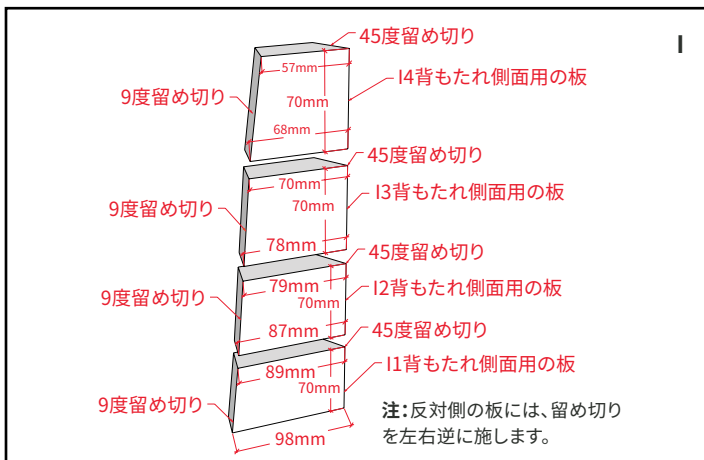
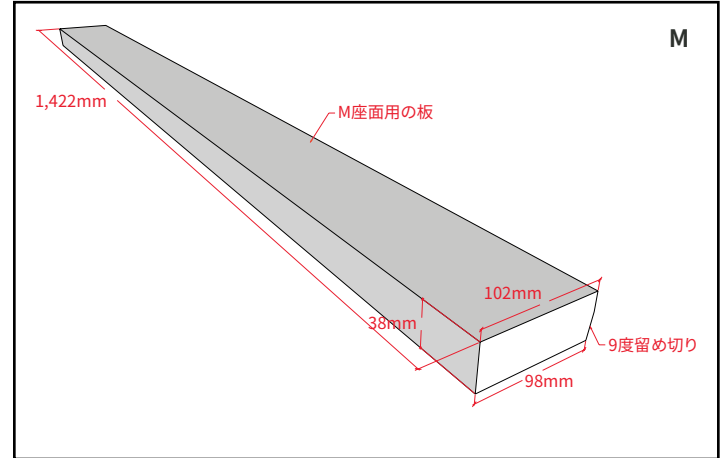
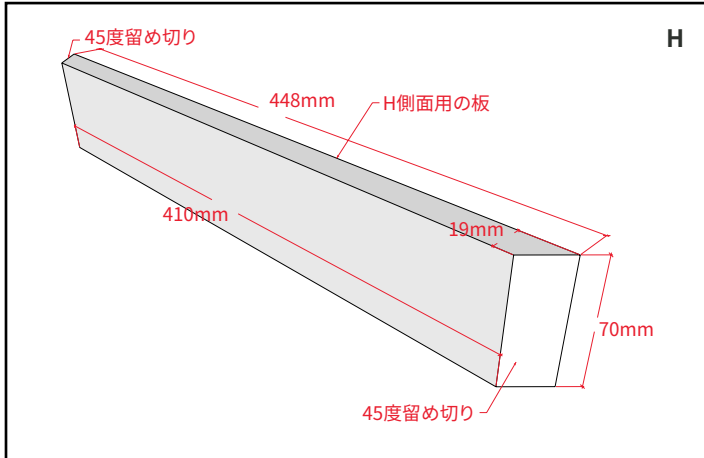
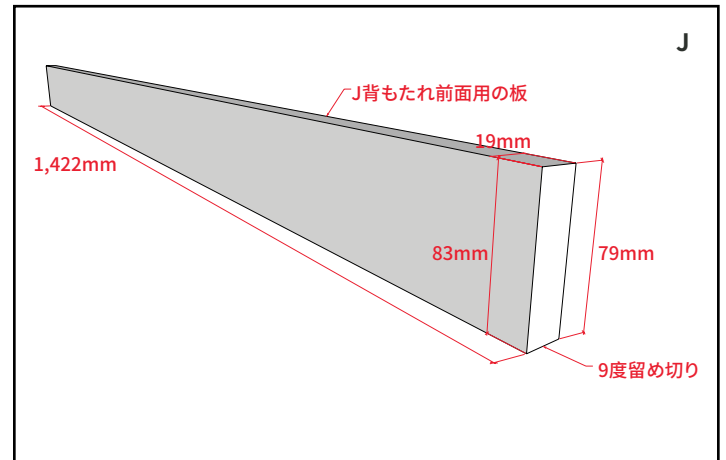
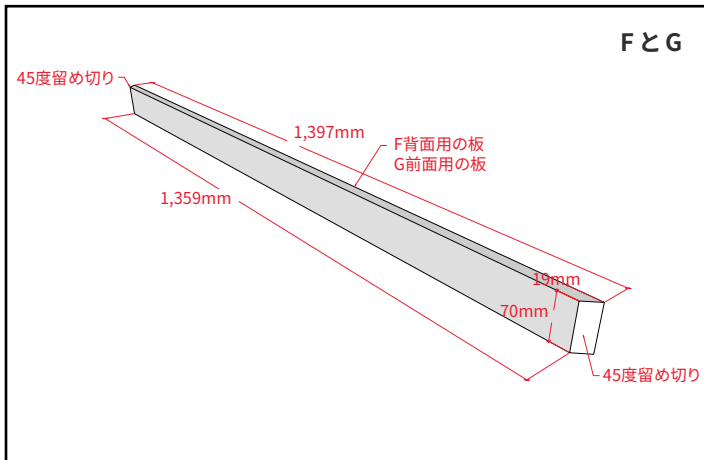
プロのコツ

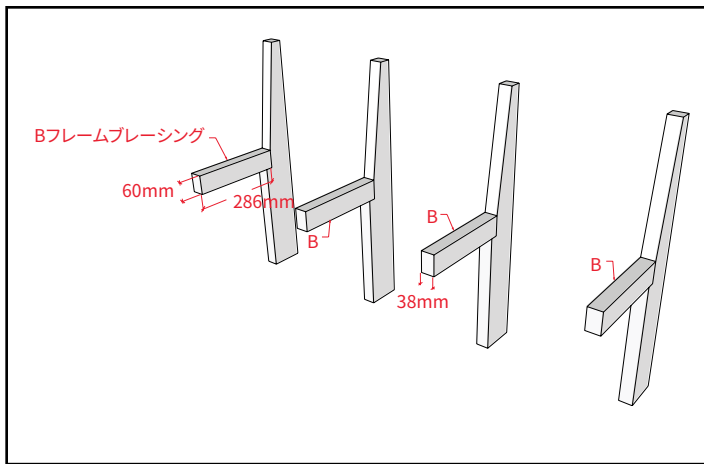
1. 接着を伴う箇所には、屋外用で建築用のポリウレタン接着剤をお使いください。木片を使って、トーストにバターを塗るように、薄く均一に塗布します。接着剤がはみ出さないよう、適量を縁から1/2インチ(約12-13mm)内側まで塗りましょう。その後、接着面を所定の位置に押し当て、1秒間引き離してから、再び圧着します(これにより、接着剤が活性化され、早く固まります)。接着剤が完全に乾く前に、ネジを締め等の作業を行う場合は、必ずクランプで固定しましょう。
2. 屋外用家具には、耐腐食性の溶融亜鉛メッキまたはステンレス鋼の釘を使いましょう。その他、ボルト・ネジ・ヒンジといった金具類も、耐腐食性に優れたタイプを選ぶ必要があります。



ステップ1 [フレーム準備]

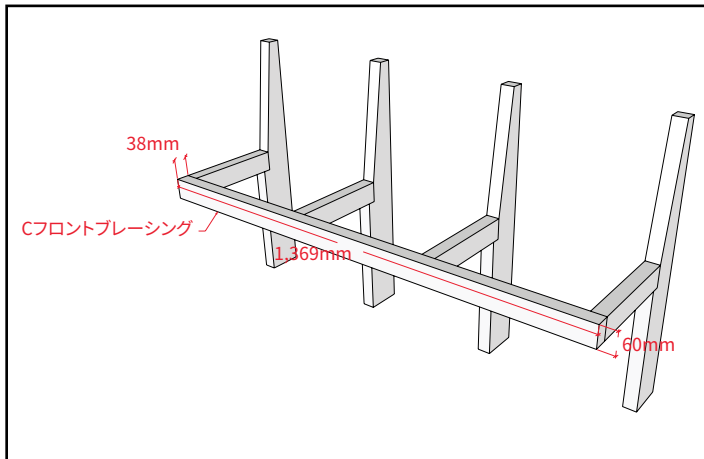
材料リストに従って、木材を決められたサイズにカットします。次に、留め切りが必要な木材ピースは、イラストに従って加工します。





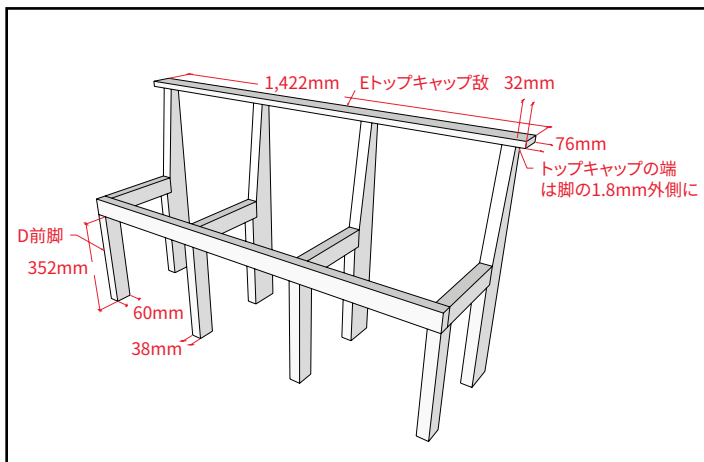
ステップ2 [ブレイシング(筋交い)の配置]

仕上釘(R)と接着剤を使用して、後脚(A) に支えとなるブレイシング(B)を取付けます。



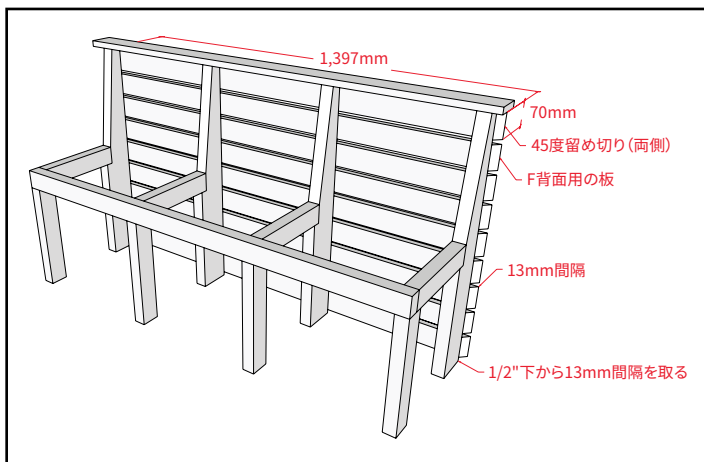
ステップ3 [フロントフレームの取付]

ねじ(Q)と接着剤を使用して、ブレイシング(B)にフロントブレイシング(C)を取付けます。



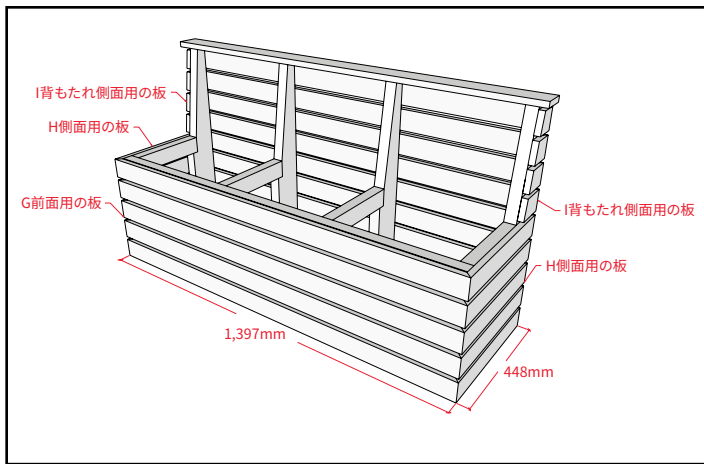
ステップ4 [トップキャップ取付]

ねじ(Q)と接着剤を使用して、ブレイシング(B)にフロントブレイシング(C)を取り付けた場所に、4つの前脚(D)を取付けます。それから、仕上釘(R)と接着剤を使用して、背もたれのトップキャップ(E)を後脚(A)の最上部に取付けます。



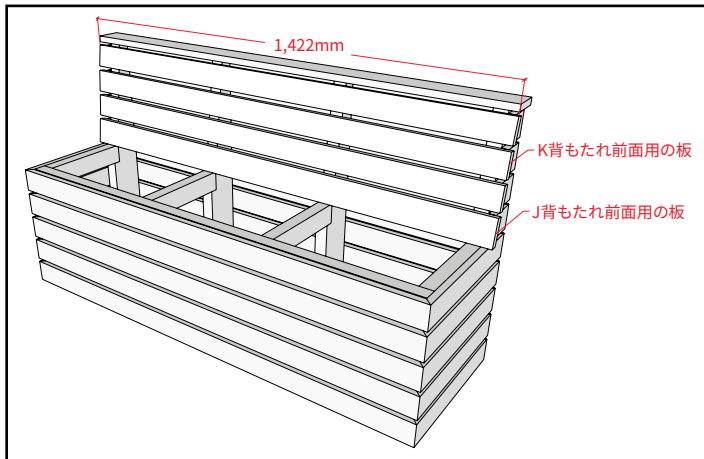
ステップ5 [背面板の取付]

仕上釘(R)と接着剤を使用して、後脚(A)の背面に9枚の背面用の板(F)を取付けます。背面板は留め切りの線が揃うように取り付けましょう。



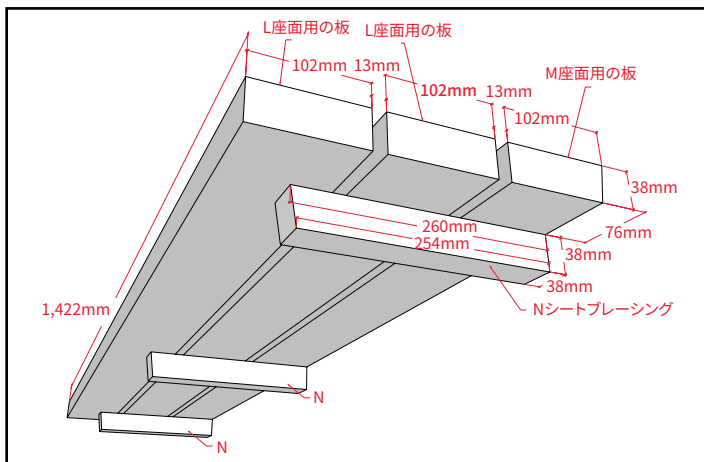
ステップ 6 [前面・側面の取付]

ベンチ前面用の板5枚(G)ならびに側面用の板10枚(H)、背もたれ側面用のサイズの異なる短い板8枚(I)を取付けます。



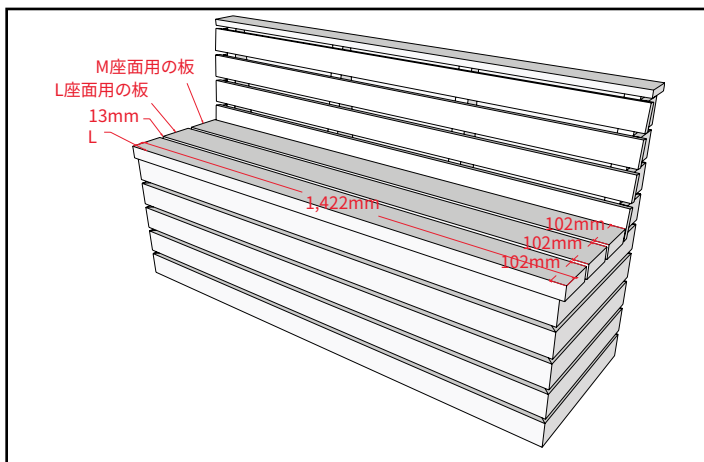
ステップ 7 [背もたれの取付]

背もたれ前面用の板は、まず、最下部のスラット板(J)から取付けます。残りの背もたれ前面用のスラット板(K)は、それぞれ1/2インチ(約1.2-1.3mm)ずつ離しながら、1枚ずつ取付けていきます。



ステップ 8 [座面の組立]

座面板(M)と2つの座面板(L)を1/2インチ(約12-13mm)ずつ離して並べ、ねじ(Q)と接着剤を使って、ブレーシング(N)を図のように取り付けます。



ステップ 9 [座面の取付]

ヒンジ(O)を使い、座面を背面に取り付けます。その際、座面板(M)が背面板側になるようにします。